

環境経営レポート

活動期間 第39期 (2018年8月1日~2019年7月31日)



撮影者：原田久美子

発行日 2019 年 10 月 30 日

刷 数 第 7 版



共立サンテック株式会社

目 次

・ 組織の概要と事業内容	・・・	2
・ 環境方針	・・・	3
・ Eoアクション実施体制と担当役割	・・・	4
・ 環境目標と実績	・・・	5
・ 活動計画の取組結果とその評価 および次年度の取組内容	・・・	6
・ 社内コミュニケーション活動		
責任者部会	・・・	15
改善提案事例	・・・	16
・ 課題とチャンス【作業環境の充実】	・・・	19
・ 環境関連法規等の遵守状況	・・・	21
・ 代表者による 全体の評価と見直し	・・・	23



組織の概要

会社名 共立サンテック株式会社
代表者 竹田 哲也
所在地 静岡県静岡市駿河区国吉田1丁目10番53号
資本金 1,000万円
連絡先 電話 054-267-7551 FAX 054-267-7532



◇環境管理責任者 武田 淳 kyoritsu@kr-suntec.jp
◇連絡先担当者 永山友佳子 kyoritsu@kr-suntec.jp

周辺地図



事業内容

当社は、樹脂成形金型の一貫生産におけるフィニッシュ部門

金型製作での放電加工や組立てなど熟練された職人による仕上加工、また新しいモノづくりへの開発や製作をし妥協を許さない製品を作り続けています!!

2019年度（第39期）	
売上高	603百万円
従業員数 (役員を含む)	46名
延床面積	1,141m ³
敷地面積	1,850m ³



認証・登録対象組織

組 織 共立サンテック株式会社
活 動 樹脂成形金型の仕上げ加工及び金属研磨

環境経営方針



基本方針

当社は、事業活動を行うなかで、環境保全が重要な経営課題の1つであることを認識し、樹脂成形金型の仕上げ加工及び金属研磨において、客先からの要求をチャンスととらえ技術の向上と資源の有効活用を図り、環境問題への積極的な取り組みに努めます。



行動指針

当社に適用される環境関連法規・当社が同意するその他の要求事項を遵守します。

事業活動を通じて、以下の取組みに対して環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。

6項目の取組み



①二酸化炭素排出削減

電力消費の節減に取り組み、二酸化炭素の排出量を削減します。

②廃棄物排出削減

資源の有効活用を図り、排出量の削減に努めます。

③水使用量削減

節水に努め、水使用量を削減します。

④グリーン購入の推進を図ります。

⑤製品・サービスへの環境配慮

改善提案から課題を発見し、チャンスと捉え、品質の改善及び効率化を図ります。

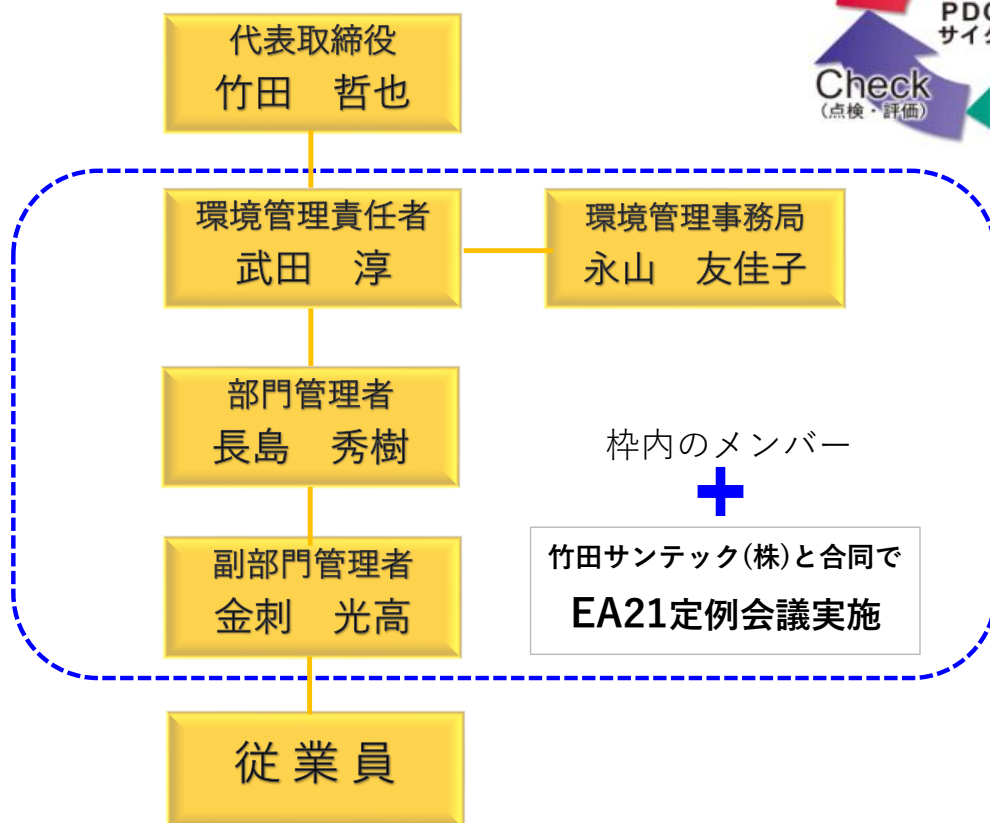
⑥環境保全に関する地域社会との調和を図ります。

制定日 2013年10月 4日

改定日 2018年 7月10日（第2版）

代表取締役 竹田 哲也

エコアクション実施体制



担当役割

当社のPDCAサイクル！ EA21定例会議でしっかりサポート

代表取締役

総括（環境経営システム・緊急事態発生時等）
課題とチャンス の明確化
経営資源の準備
環境方針の策定
全体の評価と見直し・指示

環境管理責任者
環境管理事務局

環境経営システムの構築・運用・維持、社長への報告
環境関連法規等の遵守評価
環境目標・活動計画の策定・見直し
環境関連法規等の取りまとめと見直し
中間審査・更新審査の受審査

部門管理者
副部門管理者

代表取締役、環境責任者の指示、命令を伝達
自部門の環境経営システムの運用、維持
教育訓練、緊急事態への準備および対応、是正処置等

従業員

環境方針、環境活動計画等の取組への遂行
環境関連法規等の遵守
社会貢献など

環境目標

行動指針（3ページ）で示した6項目について

第38期（2017.8～2018.7）を基準年度（BM）として中長期目標を立てました。

						中 長 期 目 標			
項目 No	環境目標項目		単位	第38期	第39期		第40期	第41期	第42期
				'17.8～'18.7	'18.8 ～ '19.7		'20.8～'21.7	'21.8～'22.7	'22.8～'23.7
				ベース値	累計目標	累計実績	目標	目標	目標
①	二酸化炭素排出量削減		kg - CO ₂	508,334	498,296	494,474	493,090	488,094	483,099
				ベース比	2%削減	2.7%削減	3%削減	4%削減	5%削減
	◆ 電力消費量削減 CO ₂ 算定係数 0.452※		K w h	1,105,225	1,083,585	1,075,381	1,072,068	1,061,016	1,049,964
				ベース比	2%削減	2.7%削減	3%削減	4%削減	5%削減
	◆化石燃料 使用量削減	ガソリン CO ₂ 算定係数 2.32	ℓ	2,583	2,580	2,555	2,580	2,580	2,580
				ベース比	0.1%削減	1.0%削減	0.1%削減	0.1%削減	0.1%削減
		軽 油 CO ₂ 算定係数 2.58	ℓ	961	880	867	880	880	880
				ベース比	☆ 8%削減	9.8%削減	8.4%削減	8.4%削減	8.4%削減
②	廃棄物排出量削減 ◆一般廃棄物排出量削減		k g	1,685	1,680	1,665	1,675	1,670	1,665
				ベース比	0.3%削減	1.2%削減	0.6%削減	0.9%削減	1.2%削減
	◆産業廃棄物排出量削減 (中間処分量削減)		k g	2,336	2,300	2,094	2,250	2,200	2,150
				ベース比	1.5%削減	10.4%削減	3.7%削減	5.8%削減	8.0%削減
③	総排水量の削減		m ³	521	500	405	400	400	400
				ベース比	4%削減	22%削減	23%削減	23%削減	23%削減
④	グリーン購入の推進		購入品 (品目)	9	9	9	9	9	9
⑤	品質改善及び効率化 (改善提案の推進)		提案件数 (件)	37	37	53	37	37	37
⑥	地域社会との調和 (会社周辺の清掃)		実施率 (%)	100%	100%	100%	100%	100%	100%

※中部電力の2018年度CO₂排出係数（調整後）0.452kg-CO₂/kwhにより算出しています。

【目標値を大幅に下げた理由】

☆ ベース期にあった客先（茨城県）への運搬が今後ない予定なので使用量を減らしました。

活動計画の取組結果と評価および次年度の取組

行動指針（3ページ）で示した6項目について取組結果をまとめました。

項目① 省エネルギー活動への取組（二酸化炭素排出量削減）

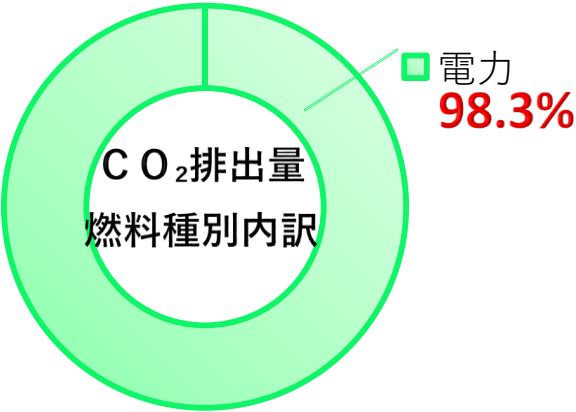
★ 当社における

二酸化炭素排出量に占める割合は

電力消費量 . . . **98.3%**

ガソリン・軽油 . . . 1.7%

10～15トンの大型金型の仕上加工を行うために大きな加工機・エアコンなどが設備されています。



【設備内容】

・ エアコン	11台
・ ダイスポットティング	3台
・ 放電加工機	12台
・ 成形機(850 t)	1台
・ その他加工機	5台

などを使用しているので

電力消費が大きな割合を占めています。

◇活動実績グラフと評価

目標値と実績値をグラフ化し比較しました。

（参考値として原単位計算をしています。）

次ページ以降、同様に評価しております。

目標値より**0.8%削減しました。** 評価 ○

評価レベル

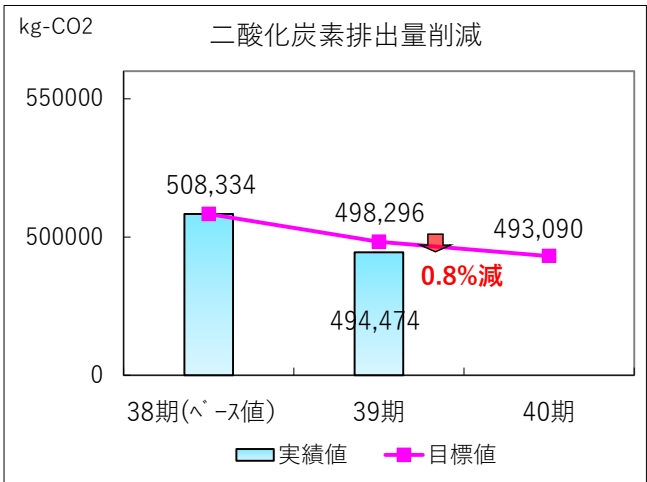
○ 目標達成 △ ～5%以内 × 5%以上

原単位は **0.85**から**0.82**kg-co₂/売上高（千円）に改善

評価○

評価レベル

○ ベース値より改善 × ベース値より悪化



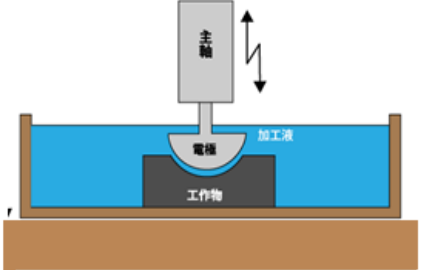
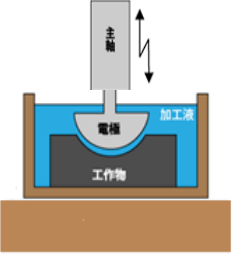
総合評価マーク

コメント

目標は達成されました。電気使用量を削減できたことが大きな要因です。

電力消費量の削減	取組内容と評価	結果
・	不要照明の消灯：休憩時および就業時の不要照明の確認と消灯を行っています。	○
・	エアー漏れ：第1四半期に担当者のチェックに漏れがありましたが チェック 部門長が点検表を毎日確認する事で是正されました。	○
・	エアコン機械フィルター：第1四半期にエアコンの清掃回数が少ないため、部門長 清掃 がエアー漏れ同様、毎日確認する事で是正されました。	○
・	未使用時：使用終了後に電源をおとすように確認をしています。 機械電源OFF	○
・	デマンド管理：デマンド警報回数は今期0件です。 発生時は、エアコン停止手順に従い実施します。	○
・	蛍光灯のLED化：蛍光灯以外にも取付照明などLED化を推進しています。	○

放電加工機の作業効率化と省電力化

外 観	 小さな部品加工を 大きな放電加工機 で行っていました。 専用の小さな放電 加工機を1台導入。 
イ メ ー ジ 図	 主軸 電極 加工液 工作物 【メリット】 ①加工スピードUP (ヘッドのストロークが短い) ②省電力化 (21KVA→13KVAに低下) ③使用加工液が 少量で行える (2m³→0.3m³に減少)  主軸 電極 加工液 工作物 ※工作物は同じもの



その他 ① エアコン2台を省エネタイプに入替ました。

その他 ② 改善提案より【搬入口シャッターの新提案（8 ページ）】
軽量ビニールのシャッターを取り付けることで
開閉スピードが早く冷気や暖気が逃げにくくなりました。

搬入口シャッターの新提案

搬入口は1日に何回も出入りするため、シャッターに負荷がかかり故障の原因となりました。夏場は、エアコン使用時でも開閉回数を減らすため開けていることが多かったです。修理代・電気代のコストがかかります!!

改善提案では

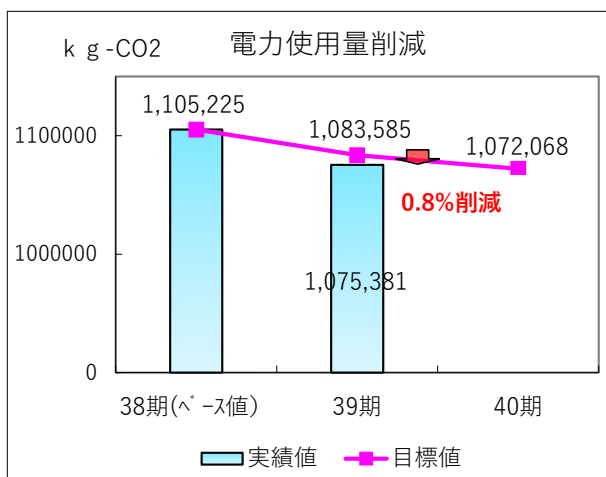
軽量ビニールタイプのシャッターを内側に設置させる



エコマーク付

- ・工場内外の様子がわかります
- ・開閉スピードが早いため
冷気や暖気が逃げにくい
- ・エアコン使用時は閉じる事で
冷暖房の効果があります
ムダな電気を消費しません
- ・重量シャッターの故障も減ります

活動実績グラフと評価



目標値より**0.8%削減しました。**

評価 ○

原単位は0.83から0.81kg-co₂/売上高(千円)へ改善

評価○

コメント

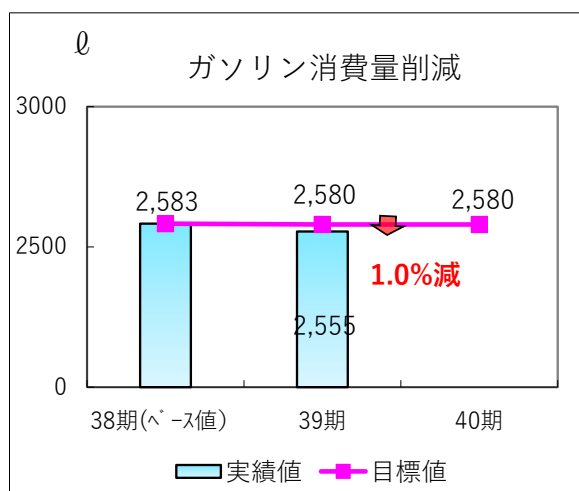
期の初めに2台省エネタイプエアコンに更新し電力量の削減を図りました。さらに提案から出た自動カーテンが取り付けられ室内の温度変化が小さくなり省エネに繋がりました。

次年度取組内容

次年度も省エネ化を図る提案を出してもらえるように呼び掛けていきます。

ガソリンおよび軽油消費量削減 取組内容		結果
・エコ運転の実施	： 急発進、加速・減速を少なくする 時間にゆとりをもって車間距離をあける運転等	○
・ガソリン及び 軽油使用量の調査	： 運行記録（移動距離、積載金型の重量、給油量等）	○

活動実績グラフと評価



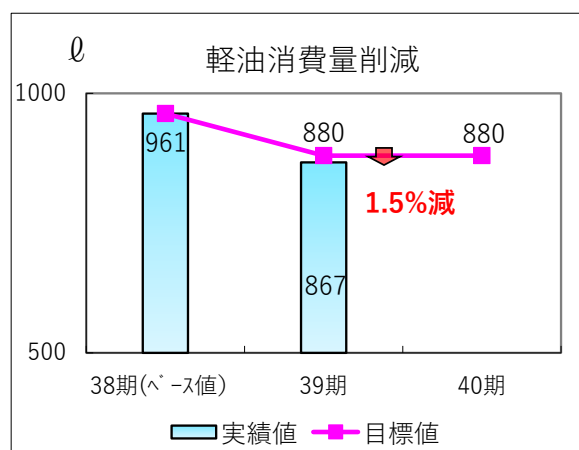
目標値より**1.0%削減しました。** 評価 ○

燃費評価 10.2 → 10.3km/ℓ 評価 ○

コメント

客先への金型を確認するため立合い回数、移動距離が月によって変動するため消費量に影響されますが、年間を通してエコ運転活動により消費量を抑えることができました。

活動実績グラフと評価



目標値より**1.5%削減しました。** 評価 ○

燃費評価 今期より積載燃費に切替
(データ収集)

コメント

客先（茨城県）へ金型を運搬する事がなくなることを見越して目標値を下げました。エコ運転活動により目標値よりさらに減少させることができました。

次年度取組内容

次年度もエコ運転活動を進めていきます。

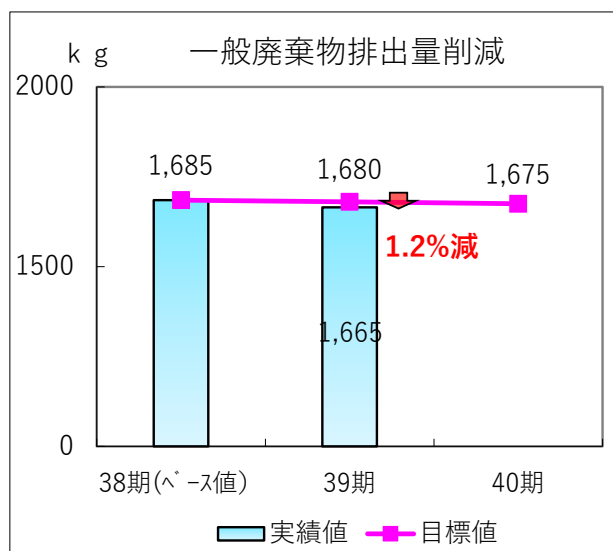
項目② 廃棄物排出量削減 取組内容（一般廃棄物）	結果
・ 分別： 物品購入時の梱包材のダンボールも分別できています。（有価物として処理されています） ・ 計量： 廃棄物はすべて計量されています。 ・ 裏紙使用の推進： 社内用で使用する用紙に活用しています。 ・ 有価物率の向上： 定着しています。	○ ○ ○ ○

新入社員への教育

4月から新入社員2名が入社しエコアクションの教育を行いました。ゴミの分別に協力をして頂き、活動にも積極的に参加するように指導を致しました。



活動実績グラフと評価



目標値より**1.2%削減 出来ました。** 評価○

原単位は 2.8から2.7 kg/売上高（百万円）へ低下

評価 ○

コメント

活動が定着化されてきたので目標を達成することができました。2名の新入社員が入社社員教育を実施しましたので、活動をさらに進めていきたいと思っています。

次年度の取組内容

パトロールの指摘事項を写真に撮り、チェック表に記載し掲示することで広報活動に繋がっていきます。

中間処分量削減	取組内容（産業廃棄物）	結果
・ 分別	： 廃棄物で分解ができる物は有価物と安定型混合物に分けています。	○
・ 計量	： 上記の分けられたものはそれぞれ計量記録しています。	○
・ 社内パトロール調査	： 月2回木曜日に必ず実施し記録・掲示しています。	○



産業廃棄物を金属・非金属に分けています。

中間処理業者のリサーク様へ現地調査をした時に、種類ごとに分別していました。

リサイクル率を向上させる目的で、当社も業者に協力し2種類に分けています。



分別を呼び掛け5年が経ちます。

部署内でも分別がしやすいように

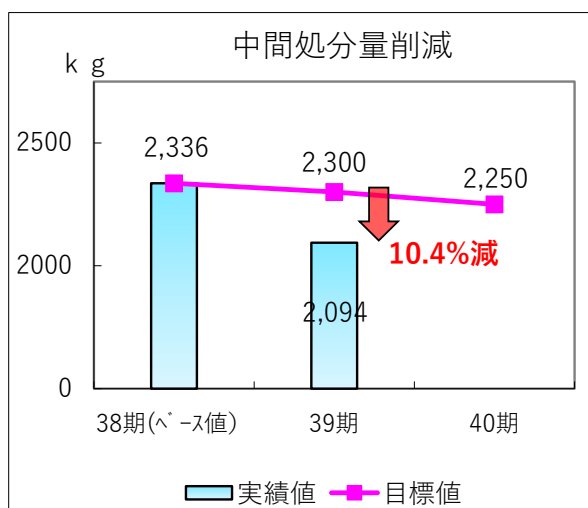
担当者が缶を色分けしてテプラで表示する

工夫をしています。内容物の確認も実施しています。



活動実績グラフと評価

目標値より**10.4%削減出来ました。** 評価 ○



原単位は 3.9から3.5 kg/売上高(百万円)へ低下

評価 ○

コメント

年間の廃棄量の50%が放電加工機のオイルフィルターで前年度までは交換基準が決まっていなかったのが今期は基準を決めたところ前期3回だったものが今期は2回に減らす事ができました。

次年度取組内容

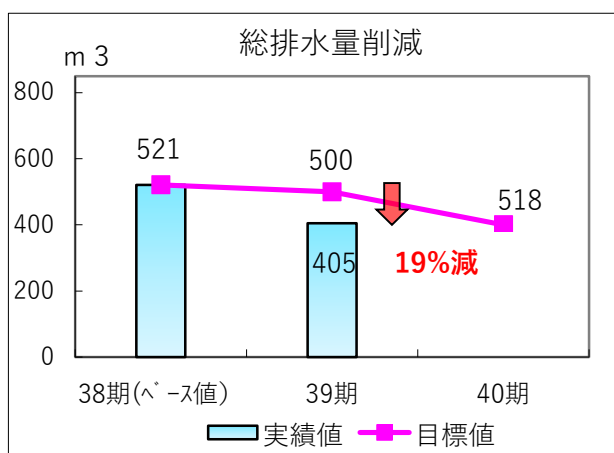
パトロールの指摘事項を写真に撮り、チェック表に記載し掲示することで広報活動に繋がっていきます。

項目③ 総排水量削減	取組内容	結果
・ 節水の呼び掛け	： 朝礼、昼礼時等の呼び掛け実施	○

和式トイレから洋式トイレに全面リフォーム!!
それだけで水使用量が月平均22m³ダウンしました。



活動実績グラフと評価



目標値より**19%削減出来ました**

評価 ○

コメント

改善提案より腰痛対策として、和式トイレから洋式トイレに全面リフォームしました。節水効果にも繋がり大幅な使用量削減となりました。

次年度取組内容

節水の呼び掛け等を引き続き実施していきます。

項目④ グリーン購入の推進	取組内容	結果
・ グリーン商品 調査及び購入	： グリーン商品掲載カタログの配布とPR	○

	38期 (ベース値)	39期	40期
目標値	9	9	9
実績値	9	9	

〈コメント〉

配布したカタログより2件該当商品を購入しビニールシャッター（8ページ）1件もエコマーク対象商品でした。

次年度取組内容

グリーン商品掲載カタログから購入を推進していきます。

項目⑤ 品質改善及び効率化（改善提案の推進）	取組内容	結果
- 改善提案の推進：竹田サンテック(株)と合同で担当者同士が活動の状況を確認しました。 - 件数実績表作成：1F掲示板に目標と実績を見える化し都度更新してます		○ ○

★自部門の活動状況と効果

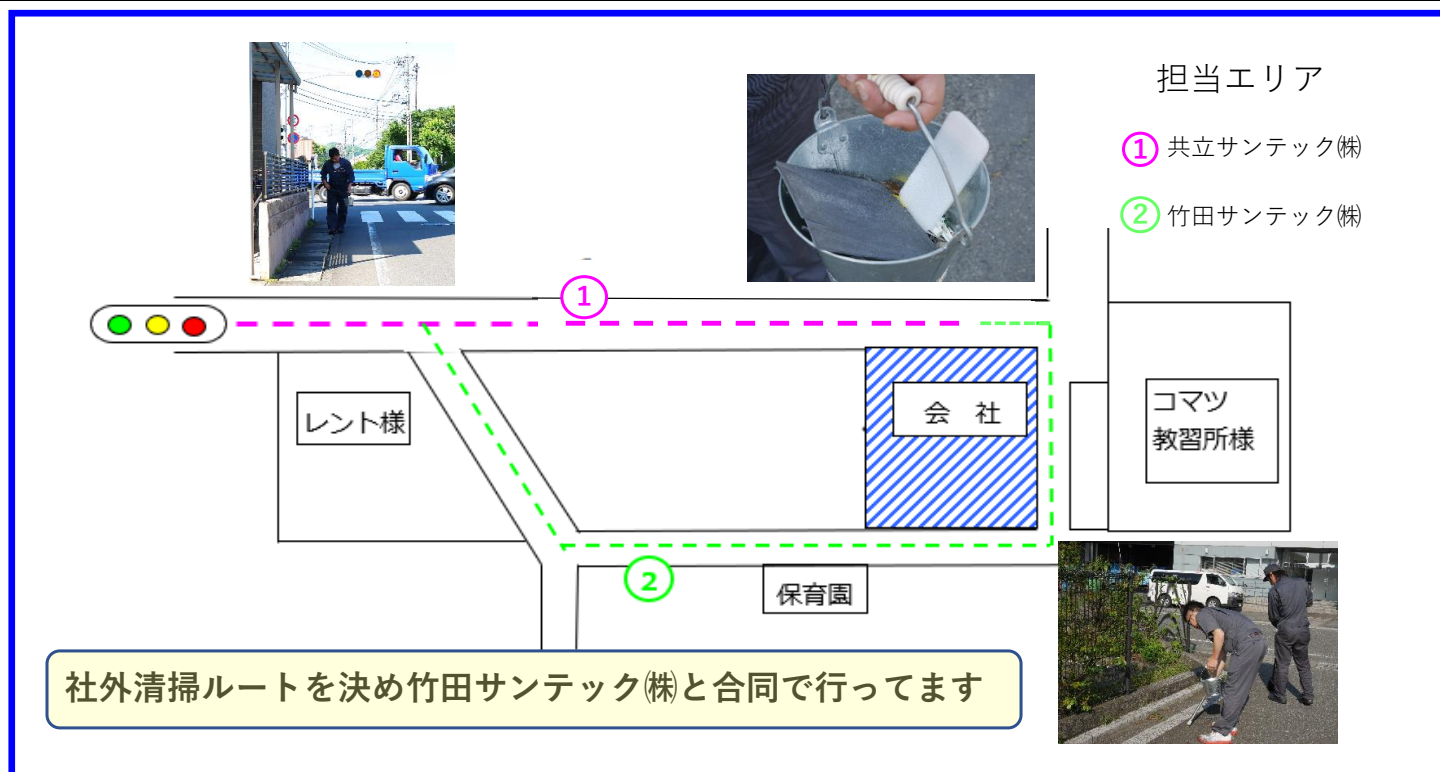
活動実績グラフと評価

目標値より **16件増加しました。**

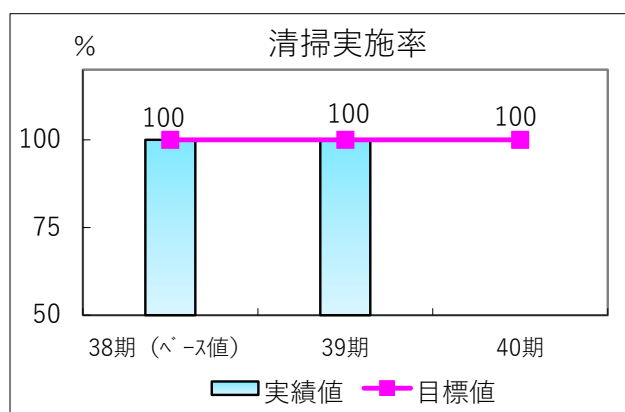
評価 ○

次年度の取組内容

項目⑥ 地域社会との調和（CSR活動）	取組内容	結果
- 会社周辺の清掃：ローテーション制度が実施され（毎週 火・金曜日）記録もされていました。 - 社外清掃（土曜出勤日）：上記同様、実施されていました。		○ ○



活動実績グラフと評価



目標値を**達成できました**

評価 ○

コメント

活動が定着して100%の実施率となりました。引き続き100%実施を目標にしていきたいと思います。

次年度の取組内容

社外清掃（土曜日）を火曜日の内に1回組み入れ活動をさらに活性化したいと思います。

社内コミュニケーション活動 1



エコアクション部門長会議（1ヶ月ごと）

メンバーは竹田サンテックと合同で各部門長が集まり、課題の進捗状況の確認や横展開を中心に部門間のコミュニケーションを図っています。

翌週の全体朝礼時に報告、掲示しております。



エコアクション定例会議（3ヶ月ごと）

部門長会議のメンバーに副部門長を加え、自部門の3ヶ月ごとの活動実績を発表し、部門長会議で出た問題をフォローします。改善提案の横展開のフォローも行います。今年度の取組を自社HPに掲載してます。翌週の全体朝礼時に報告、掲示しております。

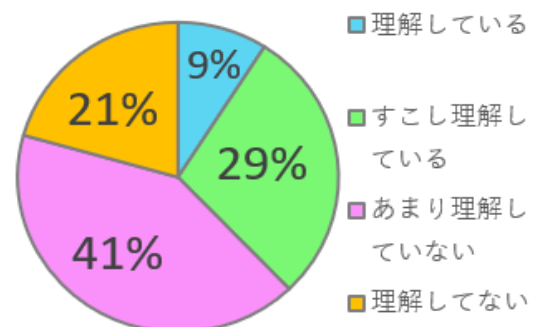


アンケート調査（年1回）

今回は、全従業員を対象に1月21日に実施しました。アンケートではエコアクションの取組内容、広報活動、自身の役割等について理解度を調査致しました。理解度が38%と低いので向上を図る広報活動を展開していきます。

共立サンテック(株) 40名

エコアクションに対する理解度（％）

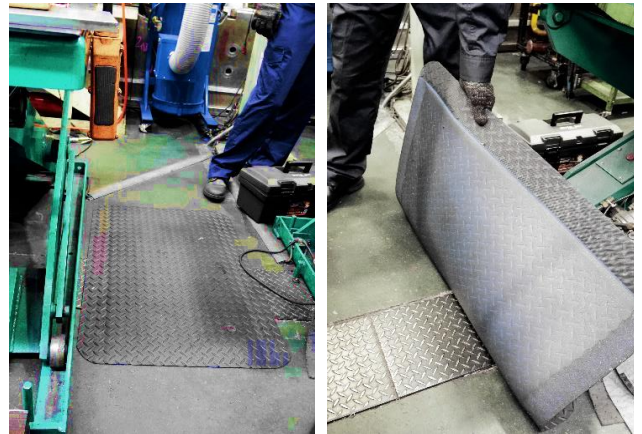


社内コミュニケーション活動 2

改善提案事例①

◆ 長時間作業の疲労対策

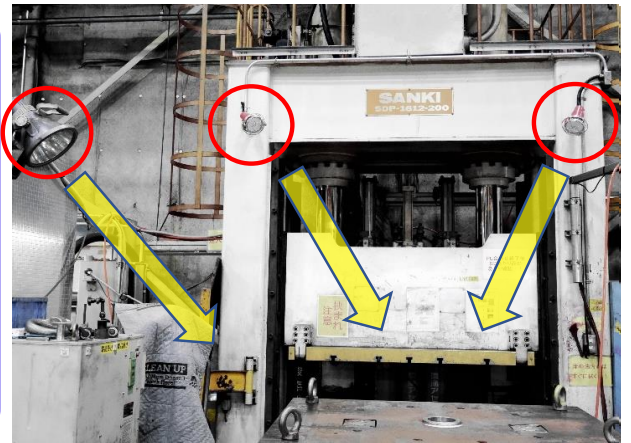
コンクリート上で作業する時間が長いため腰痛、足痛になりやすい
⇒ **クッションマットの購入**
高低差が低い、つまづき防止を考慮したマットを選定しました。作業の疲れを低減させる効果あり!!



マット下にやわらかいスポンジが付着

◆ 見えづらい、眼精疲労対策

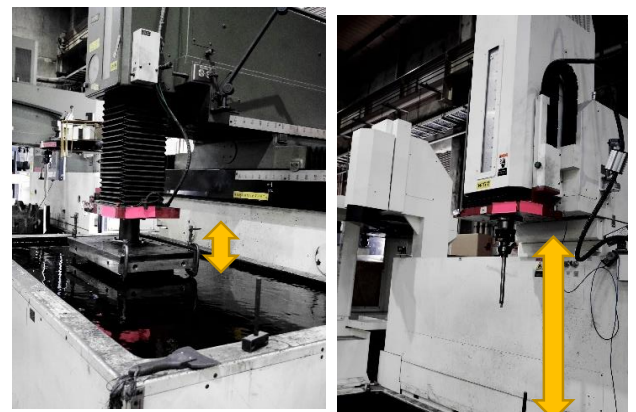
照明をつけても見えづらいので
手元ライトに頼り作業をしている
⇒ **照度が上がる様にライトの設置**
眼精疲労が軽減され、足元の危険も回避する効果あり!!



3方面から照明を設置したダイスポットティング

◆ 複数回の確認作業の削減

放電加工機の終了合図がわからな
いため複数回確認していた
⇒ **放電機のヘッドに目立つ印をつける**
離れた場所からでも終了合図が視認
でき、放置時間の削減効果あり!!



使用中はヘッドが下がり（左）
終了後はあがる様子（右）

社内コミュニケーション活動 2

改善提案事例②

◆ 外灯設置で分別作業向上

外灯が行き届かない所に樹脂の廃棄場所が設置され分別の誤りと手持ちのペンライトで作業している

⇒**外灯の設置**

分別がしやすく、ペンライトが不要になり作業しやすい。安全面も強化



◆ 測定作業の効率UP

移設場所に大きなノギスを置ける台がなく不安定な状態での測定

⇒**大きなノギスを置ける台を購入**

安定した状態で測定できることと作業効率UPと正確な測定が可能

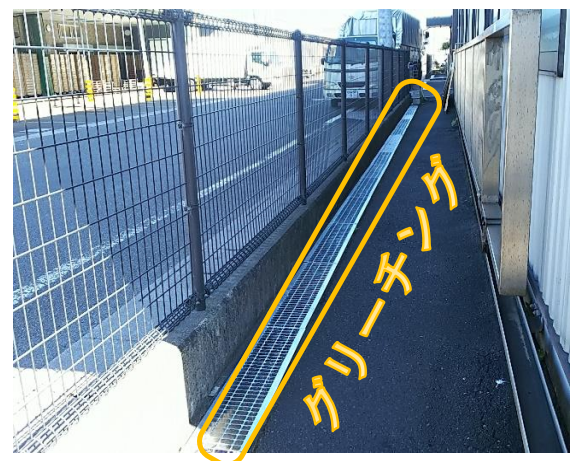


◆ 溝への踏み外し 防止対策

歩行者の利用場所にフタなしの側溝があり、踏み外す危険がある

⇒**グリーチングを設置する**

フタを設置したので踏み外しがなくなる。安全対策の効果!!



社内コミュニケーション活動 2

改善提案事例③

◆ 移動式集塵機で環境改善

粉塵対策として1台集塵機を導入しているがヤグラ内で金属を工具で削る時に吸引しやすい環境にある
⇒ **もう一台移動式集塵機の設置**
移動式なら作業者が作業場所まで移動でき、吸引を回避できる効果があり!! 環境改善にも繋がる



改善提案に加え・・・
さらに横展開!!



◆ 作業域の温度上昇防止

加工油の冷却器から出る熱風が作業域と同じ高さにあるためその周辺温度が上昇してしまう
⇒ **排気用のビニールの設置**
熱を天井から外に逃がしやすくし作業域の温度を下げる効果となる



課題とチャンス【作業環境の充実】

1. 粉じん対策

P 作業環境を良くする

金属材料を工具で削るため
空気中に粉じんが浮遊します

- ★ 作業者の安全確保のため
粉じん対策を図ります



D 作業時の安全対策

- ① メガネ、マスクの着用義務化
(写真 左上)
- ② 固定・移動式の集塵機を導入
(写真 右上)
- ③ 作業者のじん肺健康診断を実施
- ④ 工場内の粉じん測定箇所の実施
(写真 右下)



C 対策した結果

- | | | |
|--------|----------------------|----------------|
| ① 着用率 | メガネ | 80%程度 |
| | マスク | 50%程度 |
| ② 使用状況 | 作業により使用されていない場合があります | |
| ③ 受診結果 | 有所見者 | 0人 |
| ④ 測定結果 | 管理区分 | 【1】 作業環境は良好でした |

A 今後の対策

- ① 着用率の向上 未着用の原因を追及します
- ② 使用率の向上 粉じんに対する教育を行い使用率を高めます
- ③ 定期的受診 3年に1回の受診を計画します
- ④ 現状維持 維持に努めます



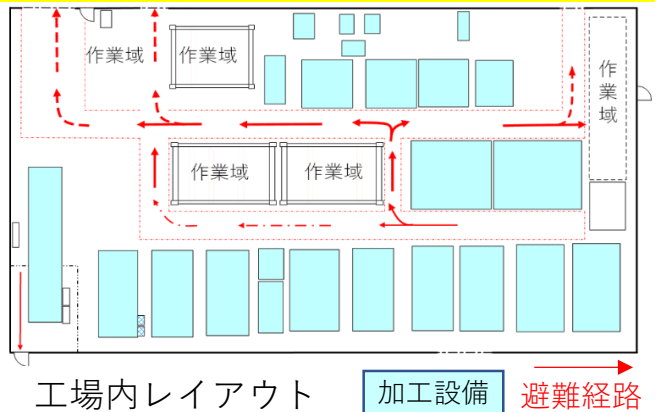
課題とチャンス【作業環境の充実】

2. 通路スペースの確保

P 通路スペースの確保

設備等が大型化しているため
作業域が狭くなっています

- ★ 避難通路の確保のため
- ★ 作業性の向上を図るため
- ★ 労災の発生を防ぐため



D 作業域・通路の確認

- ① 現状での問題と対策を全員から募集（2Sの実施）
- ② ヒヤリハットを全員で毎月提出（危険箇所の確認と注意）



C 対策した結果

- ① 物の置き方や棚の有効利用により通路上の物が作業域に移動され通路が確保されました。
- ② 個人の意識向上が図られ、労災を未然に防ぐ効果がありました。



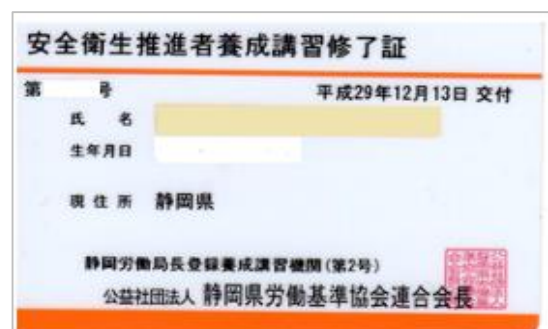
2S実施前



2S実施後

A 今後の対策

- ① 月2回のパトロールにより通路の状態を確認していきます。
- ② 中間管理職の安全衛生教育を計画し、部下に対して作業の安全性の向上を図っていきます。



環境関連法規等の遵守状況

◎遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

作成日	2013年10月15日
改訂日	2019年8月5日
法規見直し日	2019年7月26日
遵守状況確認	2019年7月30日

法規・条例	遵守事項または規制基準	当社の適用及び対応	遵守評価	確認内容
電気事業法	自家用電気工作物（キュービクル）設置 保 安規程の制定、届出及び遵守	中部電気保安協会へ委託	○	届出済
	主任技術者の選任及び届出	同上	○	届出済
	法定点検の実施	同上 ※年1回	○	2018.11 実施
廃棄物の処理及び清掃に 関する法律 (静岡県産業廃棄物の適正な 処理に関する条例)	産業廃棄物の保管	保管基準の遵守、保管場所の表示	○	目視チェック
	産業廃棄物の委託処理	処理業者と契約契約書の締結	○	ファイルチェック
	マニフェスト管理	マニフェストの交付、保管管理	○	ファイルチェック
	マニフェスト交付状況の報告	6/30までに報告書提出	○	2019.6 提出
	委託先の実地確認と記録の保存	現地確認記録の保管	○	2018.11 実施
騒音規制法	特定施設の届出	特定施設の届出（コンプレッサー）	○	届出済
	規制基準値の遵守	測定外部委託 測定法：等価騒音測定	○	2018.3 実施
振動規制法	特定施設の届出	特定施設の届出（コンプレッサー）	○	届出済
	規制基準値の遵守	測定はできません	○	—
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正処理	引取業者への引渡、再資源化預託金負担	○	都度適正に対応
家電リサイクル法	特定家電製品の適正処理	対象家電適切引渡し、再商品化費用負担	○	都度適正に対応
化管法	PRTR制度 (第1種指定化学物質462種類)	PRTR法の該当なし	○	今後も使用しない
	SDS制度 (第1種及び第2種指定化学物質)	SDSの中から640物質に該当するものを調査及び 教育	○	SDSファイル確認
労働安全衛生法	安全衛生推進者選任 (従業員50人未満)	安全衛生推進者の選任	○	推進者3名
	職場巡視	安全衛生委員会（1回/月） 安全パトロール（2回/月）	○	安全委員会で管理
	安全又は衛生のための教育	必要該当者 資格取得	○	現場へ掲示
	設備等の法定届出	クレーンの新設変更時 監督署へ届出	○	届出済 ファイル確認
	クレーン（定期点検）月次 年次	設置クレーン（3基）の目視点検（毎月） 定期点検を業者委託	○	点検記録ファイル確認
	〃（定期検査）	上記クレーンの定期点検・検査実施済 （2年ごと）	○	2017.11 実施済
	玉掛け定期点検	玉掛けの目視点検（月1回）	○	点検記録ファイル確認
	フォークリフト定期検査	車両点検（毎年5月）業者委託	○	2018.5 実施済

法規・条例	遵守事項または規制基準	当社の適用及び対応	遵守評価	確認内容
労働安全衛生法	作業環境測定（粉塵・有機溶剤）の測定（自主点検）	粉塵・有機溶剤を業務委託（毎年2月,8月 年2回）	○	2018.8及び2019.2 実施済
	定期健康診断の実施（年1回）	健康診断（6月頃実施）	○	2019.6 実施
フロン排出抑制法	管理者判断基準の遵守（定期点検）	圧縮出力7.5kwh以上のエアコン6台の定期点検を業務委託（3年ごと）	○	2017.6 実施済
	〃（自主点検）	上記を含むエアコン13台の目視点検（3ヶ月ごと）	○	年4回 2018.10,2019.1,4,7月 点検済
	引取証明書の交付・保存	室内機・室外機撤去時 証明書受取	○	ファイル確認
消防法	法定管理者の選任・届出	防火・防災管理者 届出	○	2017.6 届出済
	危険物保安監督者の選任	保安監督者選任 武田 淳	○	2009.8 届出済
	消防計画、予防規定等の作成・届出	消防計画作成届出済	○	2011.1 届出済
	指定数量以上製造、貯蔵または取り扱う施設を有する	危険物取扱所設置許可および完成検査の実施	○	完成検査済（2007.3.23）
		許可届出（品名・数量・指定数量の倍数を変更の場合）指定数量18.9倍に変更	○	変更届出済（2019.6.6）
	消防用設備の法定点検、定期検査	所有する消火器・消火栓・火災報知器の定期点検を業務委託（年2回 4,10月）	○	2018.10と2019.4 実施済
下水道法	使用の開始等の届出	特定施設ではなく1日50m ³ 未満の事業者は使用開始の時期の届出	○	2002.3 届出済

違反、訴訟等の有無

違反、訴訟等の指摘は過去3年間ありません。

代表者による全体の評価と見直し

見直日 2019年7月31日

前期見直し指示内容

- ① ガイドライン2017年度版にそった内容に変更すること。
- ② 環境経営方針の内容に不足する項目があれば対応すること。
- ③ 部門内の課題を抽出し具体的な活動にしていくこと。

見直し指示の結果

- ① すべての記録管理表を見直し変更致しました。
- ② 課題とチャンス进行明記し、環境経営方針を改訂しました。
- ③ 改善提案から課題を見つけ改善を行いました。

今期の取組状況の確認

1	エコアクション21文書	☒	5	外部コミュニケーション、対応記録	☒
2	環境目標及び目標達成状況	☒	6	問題点の是正、予防措置の実施状況	☒
3	環境活動計画及び取組み実施状況	☒	7	取引先、業界、関係行政機関、 その他の外部動向	☒
4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	☒	8	その他（ ）	

全体評価コメント

環境目標も達成でき、法令遵守等も守られていたが、担当者以外の理解度が低いので向上させる必要があると感じた。EA21活動（CO₂排出量削減など）は、事業の売上（利益）と直結するので今後も目標を達成するように活動を進めていくこと。

見直し指示内容

次年度も目標達成できるように、事前に目標や目的をわかりやすく広報していくこと。



代表取締役

竹田 哲也